

令和6年度シラバス

Ⅱコース3年（文系）

日本大学東北高等学校

目 次 Ⅱコース3年（文系）

学校シラバス	…	1	
Ⅱコース3学年教育活動シラバス	…	2	4
論理国語	…	5	8
古典探究	…	9	11
実践日本史	…	12	14
実践世界史	…	15	17
実践公民（公共）	…	18	21
実践公民（倫理）	…	22	25
実践数学	…	26	28
実践理科基礎（化学）	…	29	31
実践理科基礎（生物）	…	32	34
体育	…	35	38
英語コミュニケーションⅢ	…	39	43
論理表現Ⅲ	…	44	49
情報Ⅰ	…	50	52
総合的な探究の時間	…	53	55

…

…

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

1. 奉仕と思いやりの心を持とう 2. 新校舎を大切に学ぼう 3. 自ら学び、考え、道をひらこう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育、教科指導を計画的に推進し、学力の定着と向上を図り、生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し、生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し、幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に、学外からの出前講座、教員による校内講座を行い、幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し、グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で、英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で、英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に、ケンブリッジ大学研修を実施する。
自主的・主体的な学習への取り組みを通して、社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し、生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に、春期特別指導を実施する。 4 大学進学に向けて、各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して、生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して、人間的成長を促し、円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して、団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して、心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して、自主性や創造性、協働性を身に付けるとともに、仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して、広く芸術に触れ、親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて、自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに、安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画、防災マニュアル（安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル）を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練、および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業、ホームルーム活動を通じて、安全や健康について学習する。 4 交通安全教室、スマホ安全教室等を実施し、生徒の危機管理意識を育成する。

◇年間行事計画

Ⅱコース3学年

	指導内容・行事	指導のねらい
4月	二者面談	・生徒間、教員との信頼関係の構築
	基礎学力到達度テスト	・基礎学力の定着、自己分析
	進路希望調査	・自己理解と目標設定
	登校指導	・基本的生活習慣の確立
	シェイクアウト訓練	・危機管理意識の醸成
	ベネッセ総合学力テスト	・志望校までの距離を知る ・学習活動の振り返りと学習課題の設定
	学級懇談会	・教員—保護者の信頼関係の構築
5月	校内体育大会	・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	保護者参観授業	・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
	身だしなみ向上週間	・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	1学期中間試験	・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
	英検	・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
6月	ベネッセ共通テスト模試	・基礎学力の定着度を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題の設定
	身だしなみ向上週間	・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	文化講演会	・豊かな感性の育成 ・広い視野の獲得
	数検、漢検	・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
	1学期期末試験	・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
7月	アカシヤ祭	・自己理解を深める ・創造力、表現力の伸長 ・他者と協働する力を育む
	ベネッセ総合学力テスト	・志望校までの距離を知る ・学習活動の振り返りと学習課題の設定
	進学説明会	・入試に関する情報の収集 ・受験に向けての意識高揚
	芸術鑑賞会	・文化、芸術への造詣を深める

	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携 ・信頼関係の構築 ・現状の理解と目標の設定
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
	勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力の伸長 ・既習事項の理解を深める ・学年を越えた交友関係の構築
8月	夏期進学特別補習	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・弱点、苦手分野の克服
	全統共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	小論文模試	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力、読解力、文章を書く力の伸長
	全統記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・応用力、実践力の測定 ・記述力を高める
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
9月	進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の確認
	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める
	ベネッセ駿台共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	保護者参観授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
	基礎学力到達度テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着、自己分析
10月	校内体育大会（運動会）	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	2学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	ベネッセ駿台記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・応用力、実践力を測る ・記述力を高める
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
11月	ベネッセ駿台共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	二者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校の検討 ・志望校合格への課題設定
12月	2学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る

	校内大学入学共通テストプレ	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた実践演習 ・志望校合格への課題設定
	特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた実践演習 ・志望校合格に向けた実践演習
	出願校検討	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校の検討 ・志望校合格への課題設定
	冬期進学特別補習	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト（入試）に向けた総仕上げ
1月	大学入学共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の集大成！
	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・出願校の検討および決定
2月	個別試験対策特別講座	<ul style="list-style-type: none"> ・私大入試、国公立大2次試験に向け学力を高める。
3月	卒業証書授与式	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の振り返り ・これからの目標の確認

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
論理国語	3	3	文系

教科書名 論理国語 (数研出版)

副教材名 三訂版 大学入学共通テスト演習 現代文 (いいずな書店)

現代文長文記述問題集3 入試必修編 改訂版 (いいずな書店)

共通テスト集中演習実用的文章 (桐原書店)

現代語練習帳 ことのは (いいずな書店)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1)ガイダンス ①授業の進め方 ②週課題, 小テスト	(1) ①予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する。 ②週課題や小テストの内容や提出方法について理解する。
	5	(2)教科書 (3)共通テスト対策演習 【1学期中間試験】	(2) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など, 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (3)共通テストの出題形式や出題内容について, 問題集や過去問を通じて演習を行い, 理解を深める。

	6	(1)教科書 (2)共通テスト対策演習	(1) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (2)共通テストの出題形式や出題内容について，問題集や過去問を通じて演習を行い，理解を深める。
	7	【1学期期末試験】	
	【課題・提出物】授業ノート・週課題等		
	【1学期の評価方法】 定期試験の素点平均×70%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×30%		
2 学 期	月	学習内容	学習のねらい
	9	(1)教科書 (2)共通テスト対策演習	(1) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (2)共通テストの出題形式や出題内容について，問題集や過去問を通じて演習を行い，理解を深める。
	10	【2学期中間試験】	

		(1)教科書	(1)
	11	(2)共通テスト対策演習	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。
	12	【2学期期末試験】	(2)共通テストの出題形式や出題内容について、問題集や過去問を通じて演習を行い、理解を深める。
【課題・提出物】授業ノート・週課題等			
【2学期の評価方法】			
定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	(1)共通テスト対策演習	(1)共通テストの出題形式や出題内容について、問題集や過去問を通じて演習を行い、理解を深める。
	2	(2)国公立二次試験対策演習	(2)国公立二次試験に向けた対策を行う。
	3		
	【課題・提出物】授業ノート・週課題等		
【3学期の評価方法】			
定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			
【年間の学習状況の評価方法】			
年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

予習・復習を前提として授業を行います。語句の意味調べや段落分け等を各自で行い、授業に臨んでください。

論理的な文章においては、文章構造に着目し、文や段落相互の関係を正しく理解することを心掛けましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
古典探究	3	3	Ⅱコース文系

教科書名 高等学校 古典探究 (数研出版)

副教材名 新明説総合古典文法 (尚文出版)

古文攻略マストアイテム76 (桐原書店)

解法古文単語350 (数研出版)

精選漢文 (尚文出版)

共通テスト+センター試験 (尚文出版)

読解トレーニング 古典 (進研)

入試につながる古文 (進研)

1. 科目目標

1・2年生の段階で身に付けた読解のための基礎力を基に、演習を繰り返すことで大学入学共通テストおよび2次試験・私大入試に対応した実践力を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ～ 7	1. 【古文】(教科書) 2. 【漢文】(教科書) 3. 「大学入学共通テスト準備演習」 4. 模試事前指導および解説 ●《実践力の養成(1)》※特指 ◆模試事前指導および解説 ◆基本事項の再確認 【定期試験】 ①古語単語・漢文語彙 ②文語文法に関する知識 ③漢文句形や文構造に関する知識 ④読解問題	【古文】 〔目標〕基本的文法事項の確認や読解の基本を再確認する。 〔内容〕 ①主な助動詞・助詞の用法を軸に基本的文法事項を整理する。 ②文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【漢文】 〔目標〕基本的句法の確認や読解の基本を再確認する。 〔内容〕 ①主な句形や漢文の読み方を再確認する。 ②文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【特指】 〔目標〕問題演習を通じて実践力を身につける。 〔内容〕模試や副教材を利用し、実践力を身につける。
		【課題・提出物】 適宜提出物を課す。	
	【第1学期の評価方法】	定期テストの平均点×70%+平常点(授業態度・提出物)30%	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ～ 10	1. 【古文】【漢文】《演習》 「共通テスト国語対策問題集」を利用 ●《実践力の養成（2）》※特指 ◆模試事前指導および解説 ◆基本事項の再確認 【定期試験】 ①古語単語・漢文語彙 ②文語文法に関する知識 ③漢文句形や文構造に関する知識 ④読解問題	【古文】 〔目標〕 様々な古文に触れ、基本的文法事項の復習と並行して大学入学共通テスト・2次試験に対応できる読解力を身につける。 〔内容〕 ①主な助動詞・助詞の用法を軸に基本的文法事項を整理する。 ②文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【漢文】 〔目標〕 様々な漢文に触れ、基本的文法事項の復習と並行して大学入学共通テスト・2次試験に対応できる読解力を身につける。 〔内容〕 ①主な句形や漢文の読み方を再確認する。 ②文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【特指】 〔目標〕 問題演習を通じて実践力を身につける。 〔内容〕 模試や副教材を利用し、実践力を身につける。
	10 ～ 12		
		【課題・提出物】 適宜課題を課す。	
		【第2学期の評価方法】 定期テストの平均点×80%+平常点20%	
3 学 期	1	【大学入学共通テストまで】 《演習》「共通テスト国語対策問題集」を利用	【古文】 〔目標〕 問題演習を通じて実践力の養成を図る。 〔内容〕 二次試験や私大入試に向けた演習と解説を授業とする。 【漢文】 〔目標〕 問題演習を通じて実践力の養成を図る。 〔内容〕 二次試験や私大入試に向けた演習と解説を授業とする。
	2	【大学入学共通テスト後】 《演習》過去問などを適宜使用	
		【課題・提出物】 適宜提出物を課す	
		【第3学期の評価方法】 定期テストの平均点×80%+平常点(授業態度・提出物)20%	
【年間の学習状況の評価方法】 提出物の提出状況、授業態度などによる自学自習習慣			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。 身に付けた知識を的確に使用し、現代語で表現できる。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

古典学習ではまずは知識の習得が大切です。古語単語・古典文法(助詞、助動詞)・漢文句形・漢文の語彙・漢文の文型などをしっかりと身につけてください。その上で、演習問題などを通して文脈を把握し、設問に応じて解答する技能を身につけてほしいと思います。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
実践日本史	3	3 学年	II コース文系(選択者)

教科書名 詳説日本史 (山川出版社)

副教材名 図説日本史通覧 (帝国書院) ウィニングコンパス 日本史の整理と演習 (とうほう)
大学入学共通テストへの道 日本史(山川) 共通テスト実力トレーニング日本史(啓隆社)

1 科目目標

- 日本の歴史を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、日本人としての自覚と国際社会に生きる現代人としての資質を養うと共に、歴史事象について公正に判断する思考力や理解力を身に付ける。
- 日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、各時代の特色とその変遷を捉え、歴史と現代の結びつきを認識する能力を身に付けると共に、主体的に歴史を学ぶ姿勢を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	第 11 章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	<ul style="list-style-type: none"> ・開国によって政治・経済面で変化が発生したことや社会に与えた影響を理解する。 ・幕府の滅亡が国内外の情勢と結びついて発生した流れを理解する。 ・新政府が目指した日本の姿を把握すると共に、日本における立憲国家の特徴を西欧の国々の成立と比較して理解する。 ・日清戦争に始まる日本の戦争史を諸資料をもとに多角的に考察し、戦争が日本に与えた経済・社会的影響やその意義を理解する。 ・ワシントン体制に代表される世界の歩み寄りが発生した背景を認識し、世界における日本の立ち位置や、世界から見た日本の外交や経済を多面的に理解する。 ・明治から大正時代における思想や文化を、当時の国内・世界情勢を踏まえたうえで理解する。 	
	5	第 12 章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 第 13 章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 <u>◎1 学期中間試験</u>		
	6	2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第 14 章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展		
	7	2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 <u>◎1 学期期末試験</u>		
	【課題・提出物】			
	①内容の項目ごとの確認プリント ②授業内で課されたワークシートや授業ノート			
	【1 学期の評価方法】			
①定期試験素点(80%)：授業で扱った内容を大学共通テストなどの傾向も踏まえて出題する。 ②平常点(20%)：学習への取り組み状況(課題提出、授業ノート)、授業への姿勢など。				

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 4 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌が日本に与えた影響を、諸資料を基に考察し、昭和初期における日本の政治・経済・外交の特徴を、世界情勢と関連付けて理解する。 ・第二次世界大戦が発生した背景と、日本にもたらした変革やその意義を理解する。 ・冷戦の対立構造に対して、戦後日本がどのように国際秩序に復帰したのか認識し、国際秩序への復帰・西側諸国への接近が、日本の政治・経済・社会に与えた影響を理解する。 ・日本の経済成長が世界情勢と結びついていることを、文化史料やグラフをもとに考察し、現代につながる日本経済の推移を理解する。 ・冷戦の終結後の世界、バブル経済の特色など現代社会への繋がりを理解する。 ・日本の政治への無関心、「アメリカ化」の崩壊、グローバル化が進む社会において、現代人に求められる日本人としての視点を身に付ける。 ・志望校合格に向けて基本的な知識の定着、諸資料から情報を読み取る思考力を身に付ける。 	
	10	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 ◎2学期中間試験		
	11	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容		
	12	教科書終了後、大学入学共通テスト対策 問題集を利用した演習授業 ◎2学期期末試験		
	【課題・提出物】			
	①夏期休業中の課題(1学期の復習内容や探究課題など)			
	②内容の項目ごとの確認プリント			
	③授業内で課されたワークシートや授業ノート			
	【2学期の評価方法】			
	①定期試験素点(80%)：授業で扱った内容を大学共通テストなどの傾向も踏まえて出題する。			
②平常点(20%)：学習への取り組み状況(課題提出、授業ノート)、授業への姿勢など。				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	1	国公立2次試験・ 私立大学入試対策演習	私立大学・国公立2次試験の受験科目に日本史がある場合、その傾向にあわせた対策を行う。	
	【課題・提出物】			
	必要に応じて問題演習の課題の提出を求める			
	【3学期の評価方法】			
①定期試験素点(80%)：授業で扱った内容を大学共通テストなどの傾向も踏まえて出題する。				
②平常点(20%)：学習への取り組み状況(課題提出、授業ノート)、授業への姿勢など。				
【年間の学習状況の評価方法】				
①1学期末に進学用の仮評価を行う				
②年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。				

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	日本史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けようとしている。	定期考査 授業プリント レポート課題
思考力・判断力・表現力	日本史に関わる事象の意義、伝統と文化の特色や、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題解決のために必要な幅広い視野や、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養おうとしている。	レポート課題 定期考査 ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	日本史に関わる諸課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本と世界の繋がりを意識したうえで現代社会に求められる日本人としての役割を果たそうとしている。	授業態度 ワークシート 課題への取り組み

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- 授業中はノートをとると共にメモ書きを増やしていく。板書事項を写すだけでは、ただの作業であり、真の学力は身につかない。
- 事前学習は歴史に興味をもつことである。日常の当たり前に疑問をもつ習慣を身に付けること。そのためには日頃から歴史に関わる事柄以外にも多くの情報に触れること。
- 授業ごとの復習を徹底的に行う。一夜漬けの学習では学力・定期試験の点数には結びつかない。地道な積み重ねを確実に増やしていくことが学力向上の最大の秘訣である。
- 基礎知識が身についた後、共通テストの過去問などに自ら取り組んでいく。近年の入試問題は知識ではなく、知識を活用して諸資料を読み解く力が求められている。授業内で史料の読み取りの練習を行うので、実践的な力試しを復習で行うとより効果的である。
- 以上の目標を達成するために、授業内容に関する質問や、事前・事後学習に関する相談、問題の解き方やなど、授業・歴史に関する話題は大歓迎である。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
実践世界史	3	3 学年	Ⅱコース文系

教科書名 詳説 世界史 (山川出版社)
 副教材名 世界史図説タペストリー (帝国書院)
世界史用語集 (山川出版社)

1. 科目目標

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解する。
- ② 世界の歴史における文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察する。
- ③ 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会変動	・ウィーン体制後に進展した近代市民社会の形成やナショナリズムの台頭を理解する。
	5	列強体制の動揺とヨーロッパの再編 アメリカ合衆国の発展 19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	・二月革命のヨーロッパ諸国への影響を理解し、その現代的意義を考察する。 ・ヨーロッパの進出に対するアジア諸国の外交・内政について理解するとともに、アジア同士の国際関係についても理解する。
	6	<u>1 学期中間試験</u> 西アジア地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第 2 次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸地域の変革と民族運動	・第 2 次産業革命の中、「帝国主義の時代」が始まり、欧米諸国による世界分割が進むことを学ぶとともに、アジアにおける対応の様子を各地域の特色を踏まえ理解する。 ・「世界政策」について検討し、それがイギリスへどのような影響を与えたか検討する。 ・アメリカの中国政策の特徴を理解する。 ・辛亥革命の性格及び成果について考察する。
【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノートの点検			
【第 1 学期の評価方法】 ① 定期試験の成績 (80%) 知識・理解の確認とともに、歴史的な思考力を問う論述問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の 4 項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を評価する。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	第1次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	<ul style="list-style-type: none"> ・総力戦として行われた、二つの世界大戦の原因と影響を把握する。 ・ロシア二月革命と十月革命とを対比させて、それぞれの性格について理解する。 ・国際連盟と国際連合の成立過程、および平和構築に向けての具体的強制力の相違を理解する。 ・国際連盟と比較することで、国際連合の特徴を理解する。 ・国際連合は、米・英主導による連合国の平和機構として発足した点を認識する。 ・戦後の西欧と東欧諸国との体制や政治の違いを認識する。 ・アメリカとソ連の対立がエスカレートしていく過程を、具体的な出来事を踏まえて考察する。 ・冷戦はあくまでもヨーロッパのことであって、アジアでは朝鮮戦争のように熱い戦争になった事実を認識する。 ・なぜアジア・アフリカ諸国が第三勢力に結集したかを考察する。 ・冷戦終結後の世界について、政治・文化・経済等のグローバル化が、「アメリカ化」であることに反発が起きていることを理解する。
	10	第2次世界大戦 <u>2学期中間試験</u> 新しい国際秩序の形成 冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺	
	11	冷戦の終結と今日の世界 産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 教科書終了後、大学入学共通テスト過去問題集を利用した演習授業	
		<u>2学期末定期試験</u>	
		【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノートの点検	
		【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（80%） 知識・理解の確認とともに、歴史的な思考力を問う論述問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を評価する。	
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	国公立2次試験・ 私立大学入試対策演習	私立大学・国公立2次試験の受験科目に世界史がある場合、その傾向にあわせた対策を行う。
		【課題・提出物】 ・特になし	
		【第3学期の評価方法】 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の4項目について評価する。	

【年間の学習状況の評価方法】

- 1 学期末に進学用の仮評価を行う。
年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知能・技能	授業内容を正確に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができる。	・授業時の様子 ・定期テスト
思考力・判断力・表現力	先入観に囚われることなく、公正な立場から考察していくことができる。 授業で得た知識をもとに、歴史的事件の因果関係を解き明かすことができる。	・授業時の様子 ・授業ノート ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	世界史に興味・関心を持ち、自ら進んで授業に参加し、積極的に自分の考えを明らかにすることができる。	・授業時の様子 ・授業ノート

4. 学習サポート

- ・学習方法の相談、学習方法の指導。随時、学習相談を実施しているので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。
- ・授業内容に関する質問対応。
- ・確認プリントの配布または確認テストの実施。
- ・問題演習の授業では、予習が不可欠である。必ず予習・復習に取り組みましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
実践公民（公共・倫理）	3（1）	3 学年	Ⅱコース文系

教科書名 高等学校 新倫理（清水書院）

副教材名 テオリア 最新倫理資料集（第一学習社）

用語集 倫理 新版（清水書院） 進研 WINSTEP 倫理 改訂版（ラーズ）

1 科目目標

- 教科書のみにとらわれることなく、幅広い知識を習得するために資料集や演習問題に多く触れ、大学入学共通テストに対応できる力を養っていく。
- 演習問題をこなし、実践力を養う。（定期試験の中にも大学入学共通テスト（旧センター試験）や私大の過去問題を活用する）
- 自我の目覚める高校時代は人間や社会について関心を持ち、人生観・世界観についての思索を深め、人間形成への大きな一歩を踏み出す時期である。その時期に「目に見えない大切なもの」を求め、「人間とは何か」「人間としていかに生きるべきか」という課題を探求し、生徒自身が世界観・人生観を形成していく。
- 思想は、歴史的背景と前時代の課題を受けて成立するものであり、歴史的・有機的な関連性がある。先哲の思想を学ぶことで、物質文明の繁栄が謳われる反面、人間性や人間の尊厳の喪失が指摘される今日の社会において、人間とは何か、自分はどうあるべきか深く探求していく。
- プレゼン能力が重要な要素となってきたことを踏まえ、論理的にまとめ、発表できるようにコミュニケーション能力を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	1、2年次の倫理分野の復習および演習	○共通テストにおける頻出分野、生徒の苦手分野などの復習を行い、理解を深める。
	5	1学期中間試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。)	○共通テストおよび旧センター試験の過去問などの演習を繰り返し行い、試験に対応できる力を養う。
	6	1、2年次の倫理分野の復習および演習	
	7	1学期期末試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。)	○定期試験の問題にも、入試の過去問を多く取り入れることで、自己の入試に向けた実践力を高める。

<p>【課題・提出物】 中間・期末試験後にノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）</p>		
<p>【1学期の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>①定期試験の成績 教科書を中心とした知識・理解の確認と共に、大学入学共通テスト（旧センター試験）の過去問・私大入試の過去問からも出題する。</p> <p>②学習態度の平常点（30%以内で算出） 授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。 課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。</p>		
月	学習内容	学習のねらい
8	夏期進学補習	
9	日本大学附属高等学校基礎学力到達度テストへ向けての演習	○過去問演習などを通じて、基礎学力到達度テストに向けての演習を行うことで、対応する力を養う。 （基礎学力到達度テストで公民科目を受験しない生徒にとっても、共通試験対策になるので有効である）
10	1、2年次の倫理分野の復習および演習 2学期中間試験 （定期試験は実践公民として、一括して実施する。）	○共通テストにおける頻出分野、生徒の苦手分野などの復習を行い、理解を深める。
11	1、2年次の倫理分野の復習および演習	○共通テストおよび旧センター試験の過去問などの演習を繰り返し行い、試験に対応できる力を養う。
12	2学期期末試験 （定期試験は実践公民として、一括して実施する。）	○定期試験の問題にも、入試の過去問を多く取り入れることで、自己の入試に向けた実践力を高める。
2 学 期		

<p>【課題・提出物】 中間・期末試験後にノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）</p>		
<p>【2学期の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>①定期試験の成績 教科書を中心とした知識・理解の確認と共に、大学入学共通テスト（旧センター試験）の過去問・私大入試の過去問からも出題する。</p> <p>②学習態度の平常点（20%以内で算出） 授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。 課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。</p>		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 冬期進学補習 大学入学共通テスト対策講座	○共通テスト・二次対策へ向けて、傾向の対策と分析を行い、各自の目標に向けて学習を深める。
	2 二次対策特別講座	
<p>【課題・提出物】 ノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）</p>		
<p>【3学期の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>①学習態度の平常点（20%以内で算出） 授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。 課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。</p>		
<p>【年間の学習状況の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>各学期の中間試験は、定期試験の素点である。 総合評価は、学期末ごとに行う。総合成績には平常点が含まれる。 ○平常点は以下を踏まえて、20%以内（1学期のみ30%以内）で算出する。</p> <p>①倫理に対する興味と関心 ②授業に対する意欲と関心 ③課題等への取組み（宿題等） ④年数回（各定期試験後）のノート提出（板書事項・配布プリントの確認）</p>		

3 観点別評価内容および評価方法（実践公民として総合して行う）

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を適切に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができる。 ・授業で得た知識をもとに、社会において必要な表現力を導き出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・偏見を除き、公平・公正な立場から社会的判断を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に興味・関心を持ち、自ら進んで授業参加と、積極的な発言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

社会科は暗記科目だと考えている人も多いと思うが、倫理は過去に生きた人々の思想を知るだけではない。語句の暗記だけでなく、背景などにも関心を抱き、身近に感じることで理解が深まっていく。そのためには、授業を受け身で臨むのではなく、自発的に調べ、わかりにくいところがあれば、お互いに質問しあい、理解することに努めてほしい。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
実践公民（公共・政経分野）	3（2）	3 学年	Ⅱコース文系

教科書名 高等学校 公共（ 清水書院 ）

副教材名 新 公共 要点ノート（ 啓隆社 ） テーマ別資料 公共 2022（とうほう）
ウィニングコンパス 公共・政経の整理と演習（ とうほう ）

1 科目目標

- 情報化社会、技術革新の時代と言われ、今日の私たちの生活環境の変動にはめまぐるしいものがある。その一方で、第2次世界大戦後私たちの生活を規定していた「政治」「経済」などの様々な枠組みが有効に機能しなくなり、見直しが余儀なくされる場面も多々見られるようになってきている。こうした激動の時代に、私たちはどのように考え、何を選択し、いかに行動するかが問われている。政治・経済の授業を通して、これからの社会の中核として生きる高校生が主体的に考え、自分の意見をしっかり持ち、自分の言葉で表現できる力を養っていく。
- 大学入学共通テスト対策として教科書にとらわれることなく、幅広い知識を習得するために資料集や演習問題に多く触れ、各種試験に対応できる力を養っていく。
- プレゼン能力が重要な要素となってきていることを踏まえ、論理的にまとめ、発表できるように、コミュニケーション能力を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第2編 基本的人権の尊重と法 第1章 民主政治の原理 1 近代国家と立憲主義	○立憲主義がどのような内容をもつのか、市民革命の流れを中心に理解する。
	5	第3編 現代の民主政治と社会参画 第1章 民主政治の成立と課題 1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の自由民主主義と課題 3 世論の形成と民主社会 4 政治参加と主権者（有権者） 5 選挙と政党 1 学期中間試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。) 第2章 日本の政治機構 1 国会の役割としくみ	○自由民主主義はどのように成立し、また危機に陥ったのかを、ファシズムの台頭を通して考察する。 ○日本の選挙制度の問題点と政党政治の特徴について、理解する。 ○国会が国権の最高機関であると憲法に規定されていることの意味を理解する。

	6	2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と司法参加 5 地方自治と住民の生活	○日本国憲法における議院内閣制の意義や、内閣と内閣総理大臣の権限について理解する。 ○三審制のしくみや最高裁判所の地位と権限を理解し、裁判員制度についての理解を深める。
	7	第3章 国際政治のしくみと役割 1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 3 冷戦とその終焉	○世界の平和と秩序のために国際連合が果たしてきた役割について理解する。
		1 学期期末試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。)	
		【課題・提出物】 中間・期末試験後にノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）	
		【1学期の評価方法】（実践公民として総合して行う） ①定期試験の成績 教科書を中心とした知識・理解の確認と共に、大学入学共通テスト（旧センター試験）の過去問・私大入試の過去問からも出題する。 ②学習態度の平常点（30%以内で算出） 授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。 課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	8	夏期進学補習 4 軍縮と安全保障 5 リージョナリズム 6 グローバル化と国家 第4章 国際政治の現状と課題 1 現代の紛争 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移民と難民 4 日本の戦後外交と課題	○グローバル化が進展し、世界規模で人びとが交流する空間が成立したことで、国家の形はどのように変わりつつあるか、考察する。 ○移民や難民が増加する世界において、みなが生きていく社会はどのようにしたらつくられるか考える。
	9	第4編 現代の経済社会と国民生活 第2章 経済社会のしくみと役割 5 財政とそのはたらき	・財政のしくみや租税についての基礎知識を理解する。

	<p>6 現代の企業 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性</p> <p>10 第3章 国際経済の現状と課題 1 国際取り引きと国際収支 2 自由貿易とグローバル化 3 国際経済のこれから</p> <p>2学期中間試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。)</p> <p>11 1年次の政経分野の復習および演習</p> <p>12 2学期期末試験 (定期試験は実践公民として、一括して実施する。)</p>	<p>・資本主義経済のしくみとその特徴を理解する。 ・資本主義経済の発展と変容を、その矛盾を克服する試みとして登場した社会主義経済と比較しながら理解を深める。</p> <p>○世界経済の現状を分析し、抱えている課題について理解を深め、考察する。</p> <p>○共通テストおよび旧センター試験の過去問などの演習を繰り返し行い、試験に対応できる力を養う。</p>	
<p>【課題・提出物】 中間・期末試験後にノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）</p>			
<p>【2学期の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>①定期試験の成績 教科書を中心とした知識・理解の確認と共に、大学入学共通テスト（旧センター試験）の過去問・私大入試の過去問からも出題する。</p> <p>②学習態度の平常点（20%以内で算出） 授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。 課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	<p>冬期進学補習</p> <p>1年次の政経分野の復習および演習</p> <p>大学入学共通テスト対策講座</p> <p>二次対策特別講座</p>	<p>○共通テスト・二次対策へ向けて、傾向の対策と分析を行い、各自の目標に向けて学習を深める。</p>
	2		
<p>【課題・提出物】 ノート提出（配布プリント・配信プリントの提出状況等の確認を含む）</p>			

<p>【3学期の評価方法】</p> <p>①学習態度の平常点（20%以内で算出）</p> <p>授業時などの学習過程で、観点別評価の3項目について評価する。</p> <p>課題の提出状況（期限の遵守・課題の中身）、確認テスト等の成績を評価する。</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】（実践公民として総合して行う）</p> <p>各学期の中間試験は、定期試験の素点である。</p> <p>総合評価は、学期末ごとに行う。総合成績には平常点が含まれる。</p> <p>○平常点は以下を踏まえて、20%以内（1学期のみ30%以内）で算出する。</p> <p>①公共に対する興味と関心</p> <p>②授業に対する意欲と関心</p> <p>③課題等への取組み（宿題等）</p> <p>④年数回（各定期試験後）のノート提出（板書事項・配布プリントの確認）</p>

3 観点別評価内容および評価方法（実践公民として総合して行う）

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を適切に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができる。 ・授業で得た知識をもとに、社会において必要な表現力を導き出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・偏見を除き、公平・公正な立場から社会的判断を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に興味・関心を持ち、自ら進んで授業参加と、積極的な発言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○授業ノート

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<p>公共は時事問題などを例に挙げ、新聞やニュースで聞いたことのある内容も勉強し、社会を生き抜く必要な知識が身につくよう、サポートしていきたい。苦手意識を持たずに積極的な授業参加を期待するが、理解できなかったこと、疑問点があれば、どんどん質問に来てほしい。</p>
--

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
実践数学	5	3年生	Ⅱコース文系

教科書名 数学 C (啓林館)

副教材名 Focus Gold ⅡB アドバンスα Ⅱ アドバンスα B・C

1. 科目目標

計算力と思考力の融合

- ① 分析力の向上 (状況判断する力)
- ② 翻訳力の向上 (課題の内容を自分の言葉で言い換える力)
- ③ 目標設定力の向上 (課題解決に向かうスモールステップを自分で設ける力)
- ④ 遂行力の向上 (課題解決の過程を説明する力)

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ～ 6	平面ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形問題を数式で処理する利点を学ぶ □ ベクトルという概念に慣れる(①分析力) □ 数式からどういった図形的特徴を有しているかを探る。また、その逆もできるようにする。(②翻訳力) □ 式の特徴から解法を取捨選択できる。(③目標設定力)
	7	空間ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数式を通して立体図形や空間認識力を高める。 □ 立体図形を図示し、式でその特徴を捉え、最終的に式変形で問題の解決を図ることができる。(①分析力②翻訳力④遂行力)
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		
【第1学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を30%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学期	8 ～ 12	共通テスト対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、共通テスト対策演習を行う。 □総合的に実力を伸ばす。 2次試験で数学を使う者に対しては、個別に対策する。
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		
	【第2学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学期	1 ～ 2	共通テスト対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、共通テスト対策演習を行う。 □総合的に実力を伸ばす。 2次試験で数学を使う者に対しては、個別に対策する。
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		
	【第3学期の評価方法】 1, 2学期までの成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。		
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能 ②翻訳力	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	定期試験, 成果テストや 小テスト
思考・判断・表現 ③目標設定力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期試験, 成果テストや 小テスト
主体的に学習に 取り組む態度 ①分析力 ⑤遂行力	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	提出物の状況, 他者との協働の様子, 各種提出物など

4. 学習サポート(教科担当者より)

①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違ふ事をしないと)わからないし、出来るようにならない。数学で大切なのはアウトプットすること。

- 先ず手を動かす事...自分で出来る部分と出来ない部分を把握し、復習する部分を見付ける。おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない...カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになること。
- 分からなければ誰かに尋ねる...「教え合う」事で理解度 90%。
数学が苦手と自覚してる人は特に「人に尋ねる」こと心掛ける。
→win-win の関係を築く。

②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→...」を心掛ける。

復習の仕方

- ・ その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)。その際、気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・ 理解が乏しければ、目印をつけ、数日後にもう一度解き直してみる。
- ・ 授業前にノートを開き、直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・ 復習の際は、数式だけ羅列するのではなく、常に「誰かに見せるつもり、誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げること。

演習の仕方...アドバンス α や Focus Gold を中心に演習

- ・ 計算力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 1~2
- ・ 考える力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 3~4
- ・ Classi やロイロノートを大いに利用すること。

その他

- ・ 進路実現が最大の目標であり、そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立 2 次試験であり、そこで合格点を得るためには、参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・ アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ、「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
実践理科基礎(化学)	1	3	文系クラス

教科書名 新訂版 化学基礎(実教出版)

副教材名 ビーライン化学基礎2024 2025共通テスト対策直前演習 化学基礎

1 科目目標

これまで勉強した内容を共通テストに向け確実なものにしていく。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	総復習	
	5	2節 酸と塩基	
		1 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・定義を用い、酸、塩基を分類について理解する。 ・分類した酸、塩基の強弱には電離度が関係していることを理解する。
		2 水素イオン濃度と pH	<ul style="list-style-type: none"> ・電離式、水のイオン積を用い、水素イオン濃度の求め方を身につける。 ・水素イオン濃度から pH の求め方を身につける。
	6	3 中和反応と塩	<ul style="list-style-type: none"> ・酸、塩基を反応させ、水と塩ができる様子を反応式で表わし方を理解する(中和反応)。 ・生成した塩の分類を理解する。
		1 学期中間試験	
		4 中和滴定	<ul style="list-style-type: none"> ・中和反応の関係をを用い、酸、塩基のモル濃度と体積の求め方を身につける。 ・中和滴定(中和反応の実験)で使用する器具や操作方法を身につける。 ・滴定曲線(実験から得られるグラフ)の種類について理解する。
1 学期期末試験			
	3章 酸化還元反応		
	1 酸化と還元	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素、水素、電子の授受から物質を分類することを身につける。 ・酸化数の定義を理解する。 	
	2 酸化剤と還元剤	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化剤、還元剤の定義を理解する。 	

	7		・代表的な酸化剤，還元剤の反応式の書き方を理解する。
	【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート		
	【1学期の評価方法】 ① 定期試験の成績(80%) ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点(20%) ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応	・酸化還元反応式の書き方を理解する。 ・酸化剤と還元剤の量的関係について理解する。 ・金属のイオン化傾向，水との反応，酸との反応について理解する。 ・様々な反応の様子を電子を用いた式で表す方法を理解する。
	10	2学期中間試験 対策問題集，共通テスト予想問題集	・対策問題集，共通テスト予想問題集を利用した実践演習。
	11		
	12	2学期期末試験	
		【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・夏季休業中課題	
	【2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績(80%) ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点(20%) ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	対策問題集，共通テスト予想問題集	・対策問題集，共通テスト予想問題集を利用した実践演習。
	【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート		

<p>【3学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 <p>② 学習態度等の平常点(20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。
<p>【年間の学習状況の評価方法】各学期の成績を総合して評価する。</p>

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・学んだ内容が関連付けて整理され定着している。 ・知識を用いて発展的な応用ができる。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。 ・操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確である。 ・実験結果に対する考察が充分であり、その内容を適切に伝達できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容について科学的な捉え方ができる。 ・授業の成果を生かして社会や生活との関連を考えられる。 ・発展的な内容についても思考を展開させられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・授業ノート ・演習プリント ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・授業ノート ・演習プリント

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

随時、学習相談を実施するので、箇所があれば早めに質問しにきてほしい。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
実践理科基礎 (生物基礎)	2	3 学年	Ⅱ コース文系

教科書名 生物基礎 (数研出版)

副教材名 スクエア最新図説生物 (第一学習社) セミナー生物基礎 (第一学習社)

大学入学共通テスト攻略問題集 ビーライン 生物基礎 (第一学習社)

進研[センター試験]直前演習 生物基礎 (ラーンズ)

大学入試センター試験実践問題集 生物基礎 (駿台文庫)

1. 科目目標

1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを知る。

2. 学力をつける

大学入学共通テストに対応できる学力を構築する。

3. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	「大学入学共通テスト攻略問題集 ビーライン 生物基礎 (第一学習社)」 による復習と演習	「大学入学共通テスト攻略問題集 ビーライン 生物基礎 (第一学習社)」による演習を通して、生物基礎の基礎知識を整理し、それらの定着をはかる。
	5	1 学期中間試験	
	6	「進研[センター試験]直前演習 「生物基礎 (ラーンズ)」による演習 第 1 回～第 5 回 1 学期期末試験	「進研[共通テスト]直前演習 生物基礎 (ラーンズ)」による演習を通して、センター試験に対する応用力を養う。
【課題・提出物】 ・ 定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する			
【第 1 学期の評価方法】			
・ 定期試験の成績 (70%) ・ 学習態度及び提出物 (30%)			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	「進研[共通テスト]直前演習 生物基礎（ラーンズ）」による演習 第6回～第10回	「進研[共通テスト]直前演習 生物基礎（ラーンズ）」による演習を通して、共通テストに対する応用力を養う。
	10	「大学入試センター試験実践問題集 生物基礎（駿台文庫）」による演習 第1回～第5回 2学期中間試験	「大学入試センター試験実践問題集 生物基礎（駿台文庫）」による演習を通して、共通テストに対する実践力を養う。
	11	「大学入試センター試験実践問題集 生物基礎（駿台文庫）」による演習 第1回～第5回 2学期期末試験	
	【課題・提出物】 ・ 定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する 【第2学期の評価方法】 ・ 定期試験の成績（80%） ・ 学習態度及び提出物（20%）		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	共通テスト予想問題による演習 3学期	共通テストのための直前対策をする。
【年間の学習状況の評価方法】 ・ 年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する			

3 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。 ・生命現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。 ・科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出し、それを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・提出物

4. 学習サポート

<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、学習相談を実施しています。
--

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	3	3	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため

- (1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身に付ける。
- (2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	集団行動 ①挨拶・集合・体形 ②方向変換・列の増減 体づくり運動・体育理論（通年で行う） (1) 体づくり運動 ①体ほぐしの運動 ②実生活に生かす運動の計画 (2) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展（1年次） 運動やスポーツの効果的な学習の仕方（2年次） 豊かなスポーツライフの設計の仕方（3年次） 陸上競技〔走〕ア競争 ①短距離走 ②持久走	・集団の一員として迅速に、かつ安全に行動できる力を身に付ける。 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。 ②健康に生活をするための体力の向上、運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を育成する。 ・以下4項目に関し、体育実技の実施と関連させながら学習する。 ①スポーツの歴史的発展と多様な文化 ②現代スポーツの意義や価値 ③スポーツの経済的効果と高潔さ ④スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・2年次までの学習を踏まえて、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・ルールマナーを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たすことに意欲を持って取り組む力を育成する。 ・毎年継続して実施をする、スポーツテスト〔走〕種目における、自己の目標達成及び記録向上を目指す。

	<p>スポーツテスト（新体力テスト） 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>ソフトテニス</p> <p>① オリエンテーション</p> <p>② グランドストローク (フォア・バック・ロブ)</p> <p>③ バックハンド</p> <p>④ サービス</p> <p>⑤ ルール</p> <p>⑥ ゲーム（簡易ゲーム・ダブルス）</p> <p>理論 ソフトテニスの特性・ルール・試合運営などを学ぶ</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を育成する。</p> <p>ソフトテニスの基礎技術を身につけ、ネット型スポーツの特性を理解する。 (生徒自らが)主体的にゲームを中心とした活動が出来る力を育成する。 フォアハンド、ロブを重点に習得し、ラリー（乱打）を継続できる力を身に付ける。 バックハンドの技術、およびサービスを狙った所へ打つことの出来る力を身に付ける。 生徒の技量に合わせた内容で試合（簡易ゲーム含）が出来る力を身に付ける。</p> <p>生涯スポーツの選択肢の一つとして、ソフトテニスも含まれるような知識、技能を身に付ける。</p>
--	---	--

【課題・提出物】 期末試験前後にソフトテニスに関するレポート・小テストを実施予定。

【第1学期の評価方法】

1. 実技試験（60%）

①ソフトテニスの基礎技術に関する試験を実施する。

グラウンドストローク（フォア・バック）、サービス、簡易ゲームによる技術的評価

②スポーツテスト（新体力テスト）

・50m走、持久走、ハンドボール投げ、反復横とび、長座体前屈、握力、上体起こし、立ち幅跳び

※実施時間数によって上記種目から選択をし、評価に加える。

2. 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%）

- ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。
- ・正しい服装で授業へ参加できている。
- ・ルール等の確認テスト。

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>体づくりの運動</p> <p>① 体ほぐしの運動</p> <p>② 体力を高める運動</p>	<p>長期休業後の体力回復、怪我、病気等の予防につながる力を育成する。</p> <p>特に柔軟・心肺機能の向上を目的とする。</p>

10 11 12	〔球技選択〕 バスケットボール バレーボール サッカー ソフトボール等 ・ゲーム・簡易ゲーム形式中心で実施 体育理論 ・実施する種目のルール・技術の知識の 習得	今まで学んできた球技を中心とした種目を、競技レベルに合わせた内容で、自らが主体となって種目（授業）を展開する力を身に付ける。 生涯スポーツにつながられるよう、多岐にわたる種目を選択・実施する。 実施する種目ごとに基礎的スキル・ルール、ゲームの進め方についての知識・技能を身に付ける。
【課題・提出物】 期末試験前後に選択種目内から選び、レポート・小テストを実施予定。		
【第2学期の評価方法】 ①実技試験（60%） ・主とする実施種目への取り組み及びスキル評価表を基に評価する。 ※選択種目等により評価の違いが出ないように、教科会で審議の上、内容を決定する。 ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 〔球技選択〕	授業を通じて仲間との協力、協調、楽しさや喜びを学習する。 種目のルール、試合運営を学び、仲間と協力してゲームを進める力を身に付ける。
【課題・提出物】 なし		
【第3学期の評価方法】 1. 実技試験・授業への取り組み（60%） ・主とする実施種目への取り組みを基に評価をする。 2. 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%） ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
【年間の学習状況の評価方法】 1 学期末と2 学期末に進学用の仮評定を算出する。 学年末の評定（評価）は1 学期・2 学期・3 学期の実技の平均（60%） 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況（40%） 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。		

3 観点別評価内容および評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動技術（技）の名称や試合を進めるためのルールを学ぶ姿勢がある。 2. 各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけており、ゲームに生かすことができる。 3. 各運動の特性に応じて勝敗を競い、攻防を展開できる技能を有する。 4. ミニゲームの審判を務めることができる。 	<p>実技テスト 確認テスト 記録 観察</p>
思考・判断・表現	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それを他者に伝えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための取り組みを工夫し、伝えようとしている。 2. 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。 	<p>記録 観察</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が少なく、授業への参加態度が良好である。 2. 健康・安全に配慮した服装で参加をし、学習に主体的に取り組もうとする態度で臨んでいる。 3. 多様性を理解し仲間と協力することができる。 	<p>記録 観察</p>

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応する。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
英語コミュニケーションⅡ	5	3	Ⅱコース

教科書名 ELEMENT English Communication III (啓林館)
副教材名 2025 大学入学共通テスト実戦問題集 英語リーディング (駿台文庫)
テーマごとに4技能を学ぶ Interactive 4 skills 1 CEFR A2 LEVEL (旺文社)
英単語ターゲット 1900 (旺文社)
Cutting Edge Blue 大学入試長文読解問題集 (エミル出版)
共通テスト英語模擬演習 40min. 2025 Ver.2 (エミル出版)
進研 WINSTEP Plus 英語 新課程版 (ラーンズ)

1 科目目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと[やりとり]・話すこと[発表]・書くこと）において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 Energy <エネルギー・環境> 移動の際に最も環境負荷の低い交通手段は？	Numbers Don't Lie: Which Is Eco-Friendly? (論説文: 500 語程度)を読む。 社会的な事柄についてグラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。
	5	Lesson 2 Environment and Life <自然・環境> 環境保護がオランウータンを減少させる？ 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON1~2 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter1~3 1 学期中間試験	Environment or Orangutans? (論説文: 500 語程度)を読む。 社会的な事柄についてグラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。

	6	Lesson 3 Health and Life <健康・医学> ①人は何時間眠ればよい？ ②人は睡眠を奪われるとどうなる？	Sleeping (ダブルパッセージ：各 300 語程度)を読む。 社会的な事柄について短い 2 つの論説文を読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを身につける。
	7	Lesson 4 Humans and Technology <科学技術・脳科学> ①インターネットは記憶力をダメにした？ ②デジタル時代の記憶力の変化とは 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON3~4 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter4~6 1 学期期末試験	The Digital-Era Brain: Damaged or Improved? (ダブルパッセージ：各 300 語程度)を読む。 社会的な事柄について短い 2 つの論説文を読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを身につける。
	【課題・提出物】 ・各種テキスト ・単語テスト		
【1 学期の評価方法】 ・定期試験素点：70% (1 学期中間試験・1 学期期末試験) ・平常点：30% (課題提出・単語テスト・授業態度)			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Lesson 5 Diversity <人権・多様性> 絵文字の抱える多様性への問題とは	Emoji-The Language of the Online World (説明文：700 語程度)を読む。 社会的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。
	10	Lesson 6 Education <教育・経済> 5 ドルと 2 時間で何が出来る？	A Class from Stanford University (エッセイ：1,000 語程度)を読む。 身近な事柄について書かれたエッセイを読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。

	<p>【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON5～6 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter7～9</p> <p>2学期中間試験</p> <p>11 Lesson 7 Miracles of Nature ＜自然科学＞ 卵の形はなぜ違う？</p> <p>12 Lesson 8 Sustainable Development ＜科学技術＞ 持続可能な社会を目指すフードテック産業とは</p> <p>Lesson 9 Art and Heart ＜人間愛・家族＞ デューラーの「祈りの手」にまつわる逸話</p> <p>【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON7～8 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter10～12</p> <p>2学期期末試験</p>	<p>Not All Eggs Are Created Equal （説明文：700 語程度）を読む。 科学的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを学習する。</p> <p>The Present and Future of Food Tech （説明文：1,000 語程度）を読む。 科学的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを学習する。</p> <p>Praying Hands （物語文：700 語程度）を読む。 身近な事柄について書かれた物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読むことを学習する。</p>
<p>【課題・提出物】 ・夏期休業期間中の課題 ・各種テキスト ・単語テスト</p>		
<p>【2学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験素点：80%（2学期中間試験・2学期期末試験） ・平常点：20%（課題提出・単語テスト・授業態度） 		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 10 Human Relationships <人間愛・学校> 人生を支えた学校時代の思い出 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON9～10 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter13～16	All the Good Things (物語文：1,000語程度)を読む。 身近な事柄について書かれた物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読むことを学習する。
	【課題・提出物】 ・冬期休業中の課題 ・ワークブック ・単語テスト		
	【3学期の評価方法】 定期試験素点：80% (1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験) 平常点：20% (課題提出, 単語テスト, 授業態度)		
	【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80% (定期試験素点の平均点) 平常点：20% (平常点の平均点)		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	定期試験 単語テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	授業時の様子 課題
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	授業時の様子 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

2年次までの教科書とは違い、新出語句などが教科書に提示されているわけではないので、予習の段階で未知語の意味を調べておく必要があります。これまで同様、英語の長文を正確に読解するためには、語彙数・語彙力が必須です。与えられて知るのではなく、自ら進んで調べるようにしましょう。教科書の読解で培った基礎的な力を持って、模試を受験します。受験後はできるだけ早く解説を行います。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
論理・表現Ⅲ	3	3	Ⅱコース

教科書名 Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ (啓林館)

副教材名 Vision Quest 総合英語 (啓林館)

スクランブル英文法・語法 4th Edition 準拠トレーニング問題集 (旺文社)

大学入学共通テストリスニング分野別 10 min. (エミル出版)

共通テストリスニング 実戦 30 min. Ver.2 (エミル出版)

1 科目目標

「論理・表現Ⅰ，Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 学習／言語 Friendship and improvement 【話題】 学生の悩み解決：留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。 Lesson 2 学習／言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary? 【話題】 紙の辞書と電子辞書：書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。	【表現】 助言(Advice)：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。
	5	Lesson 3 心理 Can you change your personality? 【話題】 悩み相談コラム：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、悩みと助言を理解する。 【準拠トレーニング問題集】 第1章～第5章 【分野別 10 min.】 第1回～第5回 1学期中間試験	【表現】 譲歩(Concession)：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 プレゼンテーション [話すこと]：初級言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。 【表現】 関係(Relationship)：物事の間接性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。

<p>6</p>	<p>Lesson 4 心理 How do we make decisions? 【話題】 決断：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p>	<p>【表現】 判断の根拠 (Bases of decisions)：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：これまで重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
<p>7</p>	<p>Lesson 5 医療／健康 Online doctor consultations 【話題】 オンライン診療：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。</p> <p>Lesson 6 医療／健康 Healthy lifestyle 【話題】 健康的なライフスタイル：クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて、ジェイクの状況や問題点を理解し、健康的な生活へのアドバイスを考える。</p> <p>Lesson 7 異文化 What do you do after school? 【話題】 部活動の違い：日本とアメリカの部活動の形態について、やり取りされる学生同士のメール文を読んで、それぞれの部活動の特徴や違いを理解する。</p> <p>【準拠トレーニング問題集】 第6章～第12章 【分野別 10 min.】 第6回～第9回 1 学期期末試験</p>	<p>【表現】 代替 (Alternative)：代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：オンライン診療と対面診療の利点について考え、どちらがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 結果 (Result)：結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を示して助言するため、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 物事の正負の影響 (Positive and negative affects)：物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：アメリカの部活動と日本の部活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験を踏まえて、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
<p>【課題・提出物】 ・各種テキスト ・小テスト</p>		
<p>【1学期の評価方法】 定期試験素点：70% (1学期中間試験・1学期期末試験) 平常点：30% (課題提出・小テスト・授業態度)</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication</p> <p>【話題】 コミュニケーションの方法：2つのコミュニケーション文化（高コンテキストと低コンテキスト）について話される講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?</p> <p>【話題】 SNSの好影響と悪影響：SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。</p>	<p>【表現】 差異 (Differences)：差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：日本人にとって、高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 類似 (Similarity)：類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
	10	<p>Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?</p> <p>【話題】 SNS上のトラブル：学生に頻発するSNS上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。</p> <p>Lesson 11 社会構成 Lifetime employment or career changes?</p> <p>【話題】 終身雇用と転職：終身雇用と転職の比較について、オンラインでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、現状や傾向を理解する。</p>	<p>【表現】 理由 (Reasons)：理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：SNSの適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 可能性 (Probability)：可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：日本の終身雇用と転職について、どちらの立場を支持するかの意見を理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
		<p>【準拠トレーニング問題集】 第13章～第16章 【分野別 10 min.】 第10回～第14回 2学期中間試験</p>	

<p>11</p>	<p>Lesson 12 社会構成 Diversity in the workplace [話題] 職場の多様性：テレビ番組のジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性と現状を理解する。</p> <p>Lesson13 経済 The rise of the cashless society [話題] キャッシュレス社会：電子決済システムについて発表するため、キャッシュレス社会に関する記事と投稿を読んで、その利点と欠点を理解する。</p>	<p>[表現] 情報の追加 (Further Information)：情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] パラグラフ [書くこと]：社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するのかという点を含めて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 対照 (Contrast)：対照を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：電子決済システムのメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p>
<p>12</p>	<p>Lesson 14 経済 The gap is widening. [話題] 収入格差：収入格差に関するニュースとクラスメートの会話を聞いて、その原因や解決策について考える。</p> <p>Lesson 15 環境問題 What can we do to solve global warming? [話題] 近年の環境問題：地球温暖化の変化について書かれた記事を読んで、近年の現状や気付きをまとめる。</p> <p>Lesson 16 環境問題 Saving the earth from plastic waste [話題] 環境保護：環境保護についての情報を得るため、プラスチック汚染に関するポッドキャストを聞いて、原因や影響を理解する。</p>	<p>[表現] 意見 (Opinions)：意見を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：貧富の差の原因と解決策について、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 変化 (Changes)：変化を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] プレゼンテーション [話すこと (発表)]：地球温暖化を食い止めるために、国や地方レベルでできることについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 要約・結論 (Summary and Conclusion)：要約・結論を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：プラスチックごみから環境を守る方法について発表するため、現状や問題点、自分の考えを理由や具体例な</p>

		<p>【準拠トレーニング問題集】 第 17 章～第 23 章</p> <p>【実戦 30 min.】 第 1 回～第 3 回</p> <p>2 学期期末試験</p>	<p>どとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p>
		<p>【課題・提出物】 ・夏期休業中の課題 ・各種テキスト ・小テスト</p>	
		<p>【2 学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：80%（2 学期中間試験・2 学期期末試験）</p> <p>平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）</p>	
	月	学習内容	学習のねらい
3 学期	1	<p>Lesson 17 技術 Innovation in machine translation</p> <p>【話題】 機械翻訳：機械翻訳と近年の進歩に関する記事を読んで、その特徴や従来の人間翻訳との比較において、それぞれの利点と欠点について考える。</p> <p>Lesson 18 技術 Technological changes in agriculture</p> <p>【話題】 農業における技術の変化：農業技術の変化に関するオンラインの動画を聞いて、技術の進化やその利点と欠点、また 20 年後の農業について考える。</p> <p>Lesson 19 SDGs Just knowing about SDGs is enough?</p> <p>【話題】 SDGs の認識：SDGs の認識と取り組みについて書かれた雑誌記事を読んで、成功のカギや達成するためにできることを考える。</p>	<p>【表現】 目的 (Purposes)：目的を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 ディベート [話すこと (やり取り)]：「機械翻訳は人間の翻訳者にとって替わるだろうか」というテーマについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合うことを身に付ける。</p> <p>【表現】 例示 (Examples)：例示を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 プレゼンテーション [話すこと (発表)]：「20 年後の農業がどうなっているか」というテーマで発表をするため、農業における新しい技術の利点と欠点について、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを身に付ける。</p> <p>【表現】 情報源 (Source of Information)：情報源を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 スピーチ [話すこと (発表)]：SDGs の成功のカギと達成のためにできることについて議論するため、自分の意見を、理由や具体例などとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを身に付ける。</p>

Lesson 20 SDGs Importance of education 【話題】 教育の重要性：世界の学校教育の現状について話されるクラスメートの発表を聞いて、世界の不就学率の現状や改善点を考える。 【実戦 30 min.】 第4回～第8回 3学期期末試験	【表現】 義務 (Duty and Obligation)：義務を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 スピーチ [話すこと (発表)]：世界の教育の現状を改善するためにできることについて議論するため、自分の意見を理由や根拠、具体例などとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合うことを身に付ける。
【課題・提出物】 ・冬期休業期間中の課題 ・各種テキスト ・小テスト	
【3学期の評価方法】 定期試験素点：80% (1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験) 平常点：20% (課題提出, 小テスト, 授業態度)	
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80% (定期試験素点の平均点) 平常点：20% (平常点の平均点)	

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	定期試験 小テスト
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	授業時の様子 課題
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。	授業時の様子 課題

4 学習サポート (事前・事後学習等について)

演習の時間がメインとなります。受験のために大切な時間配分を自分で管理できるように意識して授業に臨みましょう。予習よりも復習を中心に行うと、より定着度があがると思います。受け身な気持ちではなく、自ら学ぶ姿勢を忘れずに学習してください。わからないことがあったら、すぐに質問して解決するように努めましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
情報 I	1	3 学年	I・IIコース

教科書名 高校情報 I JavaScript (実教出版)

副教材名 ポイント整理 情報モラル (数研出版)

1 科目目標

- ①多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
- ②様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
- ③情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガイダンス ● PC・教室利用について ● PCの個人設定 ● タイピング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの個人設定を行い，利用環境を整える。 ・タイピングソフトの利用の仕方を確認し，タイピングに取り組む。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アルゴリズムとプログラミング JavaScript ● 処理手順 ● いろいろなアルゴリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの流れを構造的に図示できるフローチャートや処理手順について理解する。 ・JavaScriptプログラミングを行い，動作させることができる。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ネットワークの動作としくみ ● 通信の仕組み ● IPアドレス，ホスト名 ● プロトコル ● インターネットの仕組み ● ドメイン名 ● DNSサーバの役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信に必要な知識や用語を理解し，その仕組みや役割について理解できる。 ・インターネットの仕組みや各種機器の役割を理解し，実際に通信するための情報をネットワークから取得できる。
	7	1 学期期末試験	
【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題			
【1 学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 1 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。			

		② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。	
		③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	▶ インターネット ● WWW について ● URL の概念 ● Web ページ	・ Web ページが閲覧できる仕組みを知り、Web サイトを表す URL の構造や意味を理解する。 ・ Web ページを便利に利用するため、検索サイトの構造や使用方法について理解する。 ・ インターネットを利用した犯罪や脅威について理解する。 ・ インターネットや情報を安全に利用できるような仕組みについて理解し、安全な利用法について理解する。 ・ 不正なアクセスやなりすましなどから情報を守るセキュリティ技術について理解し、安全に情報を管理し利用しようとする意識を持つ。
	10	▶ 情報セキュリティ 1 ● 不正アクセス ● ファイアウォール ● コンピュータウィルス ● スパイウェア	
		▶ 情報セキュリティ 2 ● 情報の暗号化の仕組み ● 共通鍵暗号方式 ● 公開鍵暗号方式 ● 電子署名、ハイブリッド暗号方式	
	11	▶ 表計算ソフト ● 表計算ソフトの基礎 ● 計算式 ● 基本の関数	
	12	2 学期期末試験	
	【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント、授業ノート 実技演習課題		
	【2 学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 2 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに、タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	▶ 表計算ソフト ● いろいろな関数 ● グラフ表示	・ 表計算ソフトで使用できる便利な関数について知識を深める。 ・ グラフ作成の技術を身に付ける。

【課題・提出物】 実技演習課題
【3学期の評価方法】 1学期と2学期の学期末試験をあわせて評価する。
【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末の成績を統合して評価する。

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実技演習課題 ・学習活動の観察
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習課題 ・プログラミング ・学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングテスト ・プログラミング ・授業時の取り組み ・学習活動の観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ、ブラインドタッチに挑戦しましょう。 ・実技については、毎時間課題を課します。時間ごとの内容を確認するのでしっかり覚えましょう。
--

科目	単位数	対象学年	対象クラス
総合的な探究の時間	1	3 学年	II

1 科目目標

<p>学習指導要領における目標</p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>日本大学および 日本大学東北高等学校の教育目標</p> <p>『自主創造』 自主的に学び、考え、広く世界的視野を持つ新しい自分、心豊かな自分を創造すること。</p> <p>※日本大学マインド 多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力 異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。 社会に貢献する姿勢 社会に貢献する姿勢を維持することができる。</p>
--	--

踏まえて

踏まえて

<p>本校において定める「総合的な探究の時間」の目標</p> <p>探究が自律的に行なわれるような学習環境の整備に努め、他者と協働的に取り組む中で、新たな価値を見つけ、自己の生き方や社会・職業などについて考え、発展的に自己の進路実現に向かっていくような学習展開がなされることを目標とする。</p>
--

<p>「総合的な探究の時間」において育てようとする資質や能力及び態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒自身が、これまでの学びを相互に関連付けながら課題を発見し、解決する能力 2 自律的・主体的に学習活動に取り組むことができる資質 3 他者と協働して課題に取り組む態度 4 自己の生き方や社会の諸問題について考え、発展的に自身の進路実現に向かっていく態度

相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的にはたらくようにする。

他教科で身に付けた資質・能力

2 各学年の目標および探究するテーマ

1 年次：「自己理解とキャリア探究」 働く意義について考える。探究の基礎を学ぶ。

2 年次：「自己啓発」 自ら課題を発見・追究・表現・解決する

興味・関心、身近な疑問に基づくテーマ、地域社会に関するテーマ

3 年次：「自己実現」 実体験を通じて社会に学び、社会への共生を図る。

学術的テーマまたは社会問題や企業課題に関するテーマ

3 学習計画及び評価方法

学期	回	月日	活動内容	活動のねらい
	0	4/13(土)	探究オリエンテーション	課題設定
1 学期	1	4/24(水)	探究活動 1-①	情報収集
	2	5/ 8(水)	探究活動 1-②	整理分析
	3	5/15(水)	探究活動 1-③	まとめ
	4	5/29(水)	探究活動 2-①	課題設定
	5	6/ 5(水)	探究活動 2-②	情報収集
	6	6/12(水)	探究活動 2-③	整理分析/プレゼン動画作成
	7	6/19(水)	探究活動 2-④	まとめ表現/プレゼン(表現)
2 学期	8	9/ 4(水)	探究活動 3-①	課題設定
	9	9/11(水)	探究活動 3-②	課題設定
	10	9/18(水)	探究活動 3-③	情報収集
	11	10/ 2(水)	探究活動 3-④	情報収集
	12	10/16(水)	探究活動 3-⑤	整理分析/プレゼン動画作成
	13	10/23(水)	探究活動 3-⑥	整理分析/プレゼン動画作成
	14	10/30(水)	探究活動 3-⑦	まとめ表現/プレゼン(表現)
	15	11/ 6(水)	探究活動 3-⑧	まとめ表現/プレゼン(表現)
	16	11/13(水)	探究活動 4-①	課題設定
	17	11/20(水)	探究活動 4-②	課題設定
	18	11/27(水)	探究活動 4-③	情報収集
	19	12/ 4(水)	探究活動 4-④	情報収集
	20	12/18(水)	探究活動 4-⑤	整理分析/プレゼン動画作成

3-(1) 評価の観点、内容及び評価方法

成果物の出来栄えなど、活動の結果だけを評価するのではなく、過程を評価する。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自ら問いを立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・発表している。	討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価。
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	学習や活動の状況などの観察記録による評価。 論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作物による評価。

		評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価。
--	--	------------------------------

3-(2) 評価基準 (ルーブリック)

	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	努力を要する(C)
知識・技能 知識・技能	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、既得の知識と関連付けて理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、ある程度理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得ることができない。得た知識・技能の理解ができない。
課題を発見する力 思考・判断	自分の興味・関心と社会問題を関連付けて、課題を発見することができる。	自分の興味・関心から、または社会問題から課題を発見することができる。	自分の興味・関心、社会について理解が浅く、課題を発見できない。
課題を解決する力 思考・判断	データや情報を適切に収集し、整理・分析することができる。 筋道を立て、論理的な考えを構築できる。	データや情報を適切に収集し、整理・分析する努力ができる。 根拠や論理性に欠けた部分はあるが、自分なりの考えを提示できる。	データ・情報を適切に収集・分析することができない。 データ・情報に基づいた考えを思考することができない。
考えを他者に伝えることができる力 表現	論理的に筋道を立て、分かりやすく、工夫のある発表をすることができる。	論理的に筋道を立て、分かりやすく発表しようとする努力ができる。	発表するための準備が不十分である。
自律的・主体的に学習に取り組む力 主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組むことができる。	課題の解決に向けて意欲的に継続して取り組むことができる。	活動に意欲的に取り組むことができない。
他者と協働する力 主体的に学習に取り組む態度	班員と目標を共有し、価値観や意見の異なる人の意見も尊重し協力して活動できる。	班員と協力して活動できる。	班員と協力する姿勢が見られない。